

研修生募集



令和8年度 伝統産業技術後継者育成研修 第38回京友禅（手描）専門コース 金彩 ～ 盛り上げ技法 他 ～

研修日程

[実習] Aコース：令和8年11月17日（火）～11月20日（金）
Bコース：令和8年11月24日（火）～11月27日（金）
18:00～21:30

[合評会] A・B 共通：令和8年12月2日（水）18:00～19:00

会 場

京都市産業技術研究所 5階 工芸染色実習室

募集定員

28名（A・Bコース各14名）

申込締切

令和8年10月26日（月）

＼お申込みはこちら／



研修について

本研修は、伝承が困難になりつつある手描友禅染の様々な技術・技法の中から、受講生のニーズが高いものを選定し、次代への技術移転を図るために企画した短期集中型の実習です。高度な技術を保持する講師から学ぶことで、職人・作家としての技術や表現の幅を広げていただくことを目指しています。

今回は、講師に京都手描友禅協同組合 理事長であり、本研修実行委員長の荒木 泰博 氏をお迎えし、盛り上げ技法を中心に野毛切箔、摺箔など金彩工程の技法を学びます。生地上に刺繍のような立体感と美しく複雑な光の陰影を生み出す盛り上げ技法について、加工プロセスと技術のポイントを実践的に学べる内容となっています。多数の方々のご応募をお待ちしております。

◎ 研修講師の紹介

あらき やすひろ

荒木 泰博 氏

江戸時代に途絶えた金彩技術（印金摺箔）を祖父が復興させ、父が確立した盛り上げ技法を継承。京都工芸繊維大学で学んだ高分子化学の知見を生かし、独自の研究で盛り上げ糊（高分子合成樹脂接着剤）をより柔軟で接着力の強いものへと発展させ、盛り上げ技法をさらに進化させた。盛り上げ技法をはじめ摺箔や砂子などの精緻な加工を得意とし、古典柄から幾何学模様まで自らデザインも手掛け、伝統の技を現代へつないでいる。

昭和55年 京都工芸繊維大学 色染工芸学科卒業

平成15年 伝統工芸士認定

平成28年 金彩荒木三代展 開催

平成30年 京都手描友禅協同組合理事長就任

令和 4年 伝統的工芸品産業功労者等 近畿経済産業局長表彰

令和 4年 京都府伝統産業優秀技術者表彰「京の名工」

令和 7年 蚕糸功労賞受賞

他 受賞歴多数

研修カリキュラム

回	日程		主な作業内容	時間
	A コース	B コース		
1	11/17 (火)	11/24 (火)	・技法解説・道具の説明 ・野毛切箔、摺箔	18:00 ~ 21:30
2	11/18 (水)	11/25 (水)	・砂子詰め ・盛り上げ技法	18:00 ~ 21:30
3	11/19 (木)	11/26 (木)	・盛り上げ技法 ・盛り上げぼかし技法	18:00 ~ 21:30
4	11/20 (金)	11/27 (金)	・盛り上げ技法 ・糸目箔技法	18:00 ~ 21:30
5	12/2 (水)		A・B コース合同 作品合評会	18:00 ~ 19:00

募集要項

研修日程
Aコース：令和8年11月17日（火）～11月20日（金）
[実習] Bコース：令和8年11月24日（火）～11月27日（金）
18:00～21:30

[合評会] A・B共通：令和8年12月2日（水）18:00～19:00

会 場 京都市産業技術研究所 5階 工芸染色実習室

募集定員 28名（A・Bコース各14名）

受講料等 8,000円

受講資格 京都市域における京友禅（手描友禅）関連業従事者、又は従事希望者（学生可）

申込方法 (地独)京都市産業技術研究所HP申込フォームからお申込みください。
※WEBからお申込みができない方は、お問い合わせください。
(TEL：075-326-6100)

お申込みは
こちら →



申込締切 令和8年10月26日（月）

選 考 申込み多数の場合、書類審査のうえ抽選させていただきます。
なお、選考結果につきましては決定次第お知らせします。

納入期限 受講許可者には請求書を送付しますので、
受講料を、令和8年11月17日（火）までにお振込ください。

共 催 京都手描友禅（協）、京都工芸染匠（協）、（一財）京染会

お問い合わせ 製品化・人材育成支援グループ 沖田・松原 （電話番号 075-326-6100）

研修内容

POINT

- 今回は、盛り上げ技法を中心に、野毛切箔、摺箔等の金彩工程の技法を学びます。
- 手描友禅染に関連する高度な技術保持者が実習をとおしてそのノウハウを伝授。
- 職人・作家として、技術や表現の幅が広がられます。

盛り上げ技法を中心に、野毛切箔、摺箔など金彩加工プロセスと技術のポイントを、見本裂の制作をとおして実践的に学びます。

金彩について

金彩とは、染め上がった生地に金銀の箔や金属粉を接着し、加飾する技術です。平安時代から近世の能装束や小袖に見られる「印金」と呼ばれる加飾技法に由来します。江戸時代以降、時代の変化とともに一時途絶の危機を迎えましたが、明治時代に京都の職人たちの研究によって復興を果たしました。現代では、盛り上げ技法や摺箔など多様な技法へと発展を遂げ、着物に気品ある立体感と華やかさを与える、京友禅に欠かせない重要技法として受け継がれています。

盛り上げ技法について

筒を用いて盛り上げ糊（高分子合成樹脂接着剤）を置き、箔粉・切り廻し箔を付け、刺繍のような立体感をつくり出す技法です。実習では、「盛り上げ技法」の工程と技術のポイントを学びます。さらに、筒で置いた盛り上げ糊を筆でぼかし、箔粉・切り廻し箔を付けて仕上げる、「盛り上げぼかし技法」にも挑戦していただきます。



▲A・Bコース共通見本裂（参考）



▲実習風景（過去の様子）



▲実習風景（過去の様子）



▲合評会（過去の様子）



地方独立行政法人
京都市産業技術研究所

〒600-8815 京都府京都市下京区中堂寺栗田町91
京都リサーチパーク9号館南棟

定休日 土曜・日曜日、国民の祝日、年末年始（12/29～1/3）

開所時間 8:30～17:00

TEL 075-326-6100(代表)

WEB <https://tc-kyoto.or.jp/>

- JR 嵯峨野線「丹波口」駅より徒歩10分
- 市バス「市立病院前」「京都リサーチパーク前」より徒歩5分
「西大路五条」より徒歩10分
- 駐車場（有料）・駐輪場（無料）あり



WEB



SNS

